

# 井戸



陽子は水道の水、飲まないよな。



わかして飲んでるよ。



れいそうこ  
冷蔵庫にいつもペットボトルの水を買い込んでるじゃないか。



そのまま飲む分はね。それに子どもにはできるだけ安全な水を飲ませたいのよ。



水道水は安全と思うけどな。水まで買うなんてもったいないな。おじいちゃんは今でも井戸水いどみずだよな。



おお、水道の水はめったに飲まねえ。水道ができて飲んだら、ぬるいし薬くすりくさくてまいった。井戸だとお茶の味が違う。



井戸水はまろやかよね。わかさないとちょっと気持ち悪いけどね。



それに夏冬温度が17～18度で一定してる。冬なんて井戸から湯気ゆげが出てたよ。



現代の流し



井戸 広川



井戸の内部 西真土



水道っていつできたの？

今の県営水道になったのは、東京オリンピックの頃からだよ。その前は、金目のわき水からかんい簡易水道を引いたよ。これはうまかったな。さらにその前は井戸だよ。



\*県営水道：昭和8年に相模川へさむかわしゆすいじょう寒川取水場が設けられ、昭和9年から平塚市の中心部へきゅうすい給水が開始された。昭和45年に市内ぜんいき全域へ県営水道が引かれた。

\*東京オリンピック：昭和39年に東京で開かれた第18回オリンピック競技大会。

\*簡易水道：市内の農村部では昭和32年からわきみず すいげん湧水を水源にした簡易水道がひかれるようになった。



台所の手押しポンプ 富士見町



竹ざおにつけたバケツ



今はモーターでくみ上げてるけど、むかしは竹ざおにつるべをつけて、井戸に下ろして水をくんだんだよ。



つるべ桶



ほんとに、たいへんだったね。毎朝、ておけ手桶で流しの水がめをいっぱいにするのがにっか日課だったからね。勇にもさんざん手伝ってもらったね。



両手桶



井戸ってどこの家にもあったの？



この辺はだいたいあったよ。うまいまずいはあったけどよ。八幡のしんせき親戚じゃあ、終戦後、まわりに工場ができたなら水がまずくなって、しまかいには涸れちまったよ。そういう家は水道を引かねえとどうにもならなくなっちゃったんだ。



水がめ

# べん じょ 便 所



ねえ、トイレのウンチってどこへ<sup>なが</sup>流れてくの？



下水道<sup>げすいどう</sup>を<sup>とお</sup>通って、処理場<sup>しよりじょう</sup>できれいにされて、川や海へ<sup>もど</sup>戻されるんだ。

\*処理場：平塚市には四之宮に相模川流域下水道右岸処理場がある。



うちが<sup>すいせん</sup>水洗トイレになったのは25年くらい<sup>まえ</sup>前だよ。<sup>あおい</sup>葵ちゃん<sup>と</sup>はくみ取りトイレなんて知らないでしょ。

\*水洗トイレ：トイレの水洗化は昭和40年代に市内中心部から始められた。



キャンプ場はくみ取りだったもん。むかしはおうちもそうだったの？



そうだよ。<sup>ぎょうしゃ</sup>業者が来てバキュームカーで<sup>す</sup>吸い上げていったんだよ。

\*バキュームカー：<sup>だいべん</sup>大便と<sup>しょうべん</sup>小便をポンプで吸い取って運ぶ自動車。



おれなんか、平塚の町へコイアゲに行ったよ。



なあに、コイアゲって？



水洗トイレ



くみとり便所 上吉沢



(左) 小便所



(右) 便所のくみ取り口 富士見町



朝早く荷車にぐるまに肥桶こえおけを積つんで行って、決なまった家なんげんを何軒か回まわるんだ。そんで人じんぷんを肥桶にくんで、畑のこやしにすんだよ。

\*人じんぷん：人糞。人間の大便秘のこと。



へえ、肥料ひりょうになったんだね。



そうよ。家の分だけじゃ足りねえから、町の勤つとめめ人の家からもらってくんだよ。いい肥料になるから、盆ぼんと暮くれには付つけ届とどけをしたぐらいさ。

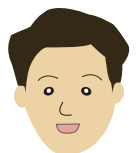
\*付つけ届とどけ：日頃、お世話になっている人へ、お礼にさしあげる贈もののこと。



くみ取りてあげるのに、お礼れいまでしてたのね。今とはまったく反たいね。



風呂ふろや流はいすいの排はいすいだって無む駄だにしない。人じんぷんに混まぜてうすめて、どろどろに発はっこうさせて使ったんだ。



じゃ、昔はくみ取り業ぎやう者がいらなかったんだね。



いってみれば農のう家がくみ取り屋だったんだ。



肥桶



小便桶



肥びしゃく



おばあちゃんの頃はぜんぶ手洗いでしょ？



そうねえ。今は全自動で助かるねえ。うちじゃあ和子さんが嫁入り道具に二槽式を持ってこられるまで、たらいと洗濯板で手洗いしてたからね。



「うちには洗濯機はない」って勇さんから聞いてたから、ぜったいに持って行かなきゃと思って親に買ってもらったの。



二槽式ってなあに？



今の全自動は洗剤入れてスイッチ押すだけで良いでしょ。二槽式はお洗濯が終わったら脱水槽へ移し替えなきゃいけないの。今から思えば手間だけど、私が中学生の頃は、洗濯した衣類をローラーにはさんで絞る洗濯機だったから、便利になったと思ったわ。



全自動式洗濯機



手回し式洗濯機

終戦後から昭和30年代に使用された。中に汚れものと熱湯を入れてハンドルを回すと、本体が回転して汚れが落ちるしくみになっている。とくに油や泥の汚れ落しに使われた。



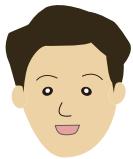
私の頃は、たらいと洗濯板と張り板<sup>はりいた</sup>が嫁入り道具だね。洗剤  
なんか無いから、洗濯石<sup>は</sup>けんで、ごしごし板の上でこすりつ  
けて洗ったんだよ。これで汚れがよく落ちたんだよ。私の母  
親は、灰汁<sup>あく</sup>も使ってたね。



あくってなあに？



火を燃すと灰<sup>はい</sup>が出んでしょ。その灰を水に入れてかき混ぜて  
ね、上澄<sup>うわすみ</sup>の汁を使うんだよ。灰はいろいろ役に立ったんだよ。  
みがき粉<sup>なべ</sup>みたいにしてお鍋<sup>かま</sup>やお釜<sup>かま</sup>をこすったり、わらびのあ  
く抜き<sup>ひりょう</sup>したり、それに大切な肥料<sup>ひりょう</sup>になったからね。



ほんとにリサイクルだよ。合成洗剤<sup>ごうせいせんざい</sup>はいくら汚れが落ちて  
も、そのまま流せば川を汚しちゃうもんね。

\*合成洗剤：石油など、動植物からとった油以外の原料を用いて、化学的に合成して  
つくられる洗剤。



たらいと洗濯板



張り板  
着物の洗い  
張りに用い  
られた道  
具。洗濯板  
で洗った布  
を張り板に  
張って干し  
た。

# 風呂



家を建て替える前は、薪でお風呂をわかしてたんだよ。



薪の風呂は良かった。お湯がやわらかくて、よく暖まった。



おれはさんざん風呂焚きをやったよ。冬なんかすぐに冷めちゃうから焚きどおしだったよ。



勇は覚えてないかもしれませんが、むかしはもらい風呂といって、近所で順番に風呂を立てて、お互いにもらったりもらわれたりしたんだ。子どもの頃は、「お風呂がわいたよ」って近所へ触れてまわったもんだよ。

\*触れてまわった：伝えて歩いた。



うちでお風呂をわかすと、よその家の人から順番に入るでしょ。私なんかしまい風呂だから、お湯は少ないし冷めてるの。でも最後だから足すのはもったいないでしょ。それで翌朝、栓を抜くとき見ると、お湯が真っ黒なの。何人も入るから汚れても仕方ないよね。

\*しまい風呂：最後にお風呂へ入ること。



うわー、大ばあちゃんかわいそう。それはひどいよ。



でも、そうやって一軒がお風呂をわかせば、大勢で入る方が節約になんだよ。



どうして？みんな家にお風呂あるんでしょ？



今だってそうじゃないか。せっかくお風呂わかしたのに、<sup>あおい</sup>葵  
一人しか入らなかつたら<sup>こうねつひ</sup>光熱費がもったいないだろう？なる  
べく<sup>おおぜい</sup>大勢が入った方が良いんだ。



そしたら<sup>きたな</sup>汚いじゃん。



むかしは井戸だからよ、風呂に水ためるのも大変だし、なに  
しろ薪がもったいねえ。うちなんか薪はあった方だけだよ、  
毎日家の風呂に入れるのは<sup>だいじん</sup>お大尽の家だけよ。なんていうか、  
今とはまったく<sup>せいけつかん</sup>清潔感が違ったんだな。

\*お大尽：大金持ちのこと。



ふーん、むかしはご近所と仲良しだったんだね。



薪をくべるボイラーシステム 広川



<sup>ふろおけ</sup>風呂桶 昭和30年代のもの